

第 26 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 7 年 5 月 1 日（木）
午後 6 時から午後 7 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 新構成員・新事務局員自己紹介

4 会議事項

(1) 第 25 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 令和 7 年度のスケジュールについて

(3) 施設整備基本計画策定に向けた配置計画について

5 その他

第 27 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】現在調整中

【会場】現在調整中

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○ = 新構成員

区分	氏名	所属等
自治体	1 畠山 啓二	佐久市 副市長
	2 吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
	3 ○篠原 秀郷	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
産業界	4 坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
	5 渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
	6 白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
学識経験者	7 坂江 千寿子	佐久大学 学長
地域	8 廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
	9 ○滝沢 裕之	佐久地域振興局 局長
同窓会	10 吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
	11 長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
PTA	12 片桐 美和子	野沢北高等学校PTA 会長
	13 掛川 勉	野沢南高等学校PTA 会長
	14 竹内 由貴	全佐久PTA連合会 会長
学校関係者	15 ○相原 修	佐久中学校長会 会長
	16 ○白鳥 貴文	佐久小学校長会 会長
再編対象校	17 永井 柊	野沢北高等学校 生徒会長
	18 相澤 寛公朗	野沢北高等学校 生徒会副会長
	19 岩下 ことい	野沢北高等学校 生徒会副会長
	20 土屋 夢萌	野沢南高等学校 生徒会長
	21 塩川 那美	野沢南高等学校 生徒会副会長
	22 月岡 宏人	野沢南高等学校 生徒会副会長
	23 柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
	24 ○赤羽根 弦	野沢北高等学校 教諭
	25 中村 信秋	野沢南高等学校 校長
	26 ○齋藤 桂似郎	野沢南高等学校 教諭

事務局

○ = 新事務局員

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
田中 聡	(教頭)・事務局長	○篠原 豪	(全・教頭)・副事務局長	○柳沢 勝美	主幹指導主事
赤羽根 弦		○篠原 俊介	(定・教頭)	土橋 邦彦	主任指導主事 (佐久新校担当)
澤田 浩文		○齋藤桂似郎		○高橋 正俊	主任指導主事 (佐久新校副担当)
清水 貴弘		山口 達之		○貝野 宗司	主事 (佐久新校担当)
○磯田 涼太		○阿藤 正彦		学びの改革支援課	
		○小須田勝夫		○高野 芙美	主任指導主事 (佐久新校担当)

第 25 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和 7 年 (2025 年) 3 月 27 日 (木) 18 時 00 分～19 時 30 分
場所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出席 (敬称略)	吉岡道明、畠山啓二、油井敏弘、坂川和志、渡辺仁、白鳥敬日瑚、坂江千寿子、廣末恵子、原啓明、吉岡徹、長田芳子、片桐美和子、竹内由貴、永井柊、相沢寛公朗、岩下ことい、柳沢敬、山下純一、中村信秋 以上 19 名
傍聴者	14 名 (うち報道 1 名)
事務局	野 沢 北 高 校 : 田中教頭 (事務局長)、澤田教諭、赤羽根教諭、清水教諭 野 沢 南 高 校 : 橋爪教頭 (副事務局長)、清水教頭、林教諭、成田教諭、山口教諭 県教育委員会 : 佐野室長、井出主幹指導主事、土橋主任指導主事
当日資料	次第、第 24 回懇話会まとめ、信号機設置の指針について、第 1 回教科別ヒアリングについて 第 2 回生徒ワークショップについて、配置計画案

会議事項

- (1) 第 24 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 施設整備基本計画策定に向けた配置計画案について

主な内容(要旨)

- (1) 第 24 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

資料冊子 2 ページについて事務局から説明。質疑、意見なし。

高校再編推進室から第 24 回懇話会で出された意見に対し現状の説明。

○セキュリティ対策について

- ・防犯カメラやセンサーライトの設置、機械警備の実施など先進事例等も含め現在、研究を進めている。

○信号機設置について (県警交通規制課安全施設係への相談報告)

- ・信号機設置の指針について説明。
- ・「信号機設置の指針の条件をクリアすること自体が難しいことに加え、条件をクリアしても安全と円滑のバランスの観点について関係部署で審議されるため、新しく信号機を設置することは大変難しいというのが現状。設置に向けては学校や地域の住人、そして道路管理者や周辺道路を使用する運転者を含め地域全体の総意として要望を挙げる必要がある。」とのこと。

○校地西側駐車場への車のアクセスについて

- ・駐車場への車の出入り口の位置については、国道 141 号線に面した西側に設置することを検討している。東側には、市道との間に水路があり、土地改良区に相談したところ「この水路は地域の用水を担う主要な水路であるため、現在、水路上にかかっているもの以外は蓋等かけないでほしい。また、水路に水門があり、水門管理のため、東側市道を車があまり走行しないでもほしい。」と要望があった。
- ・車の動線については、北側岩村田方面からは、国道 141 号線を利用して駐車場にアクセス、東側中込方面からは、国道 254 号線を走行して後、国道 141 号線を経由して駐車場にアクセス、南側臼田方面から来る車両は国道 141 号線を利用する場合、駐車場先の信号機の右折レーンを使用して U ターン、または周辺のわき道を利用して国道 141 号線臼田方面行きの車線に進み、そこから駐車場へアクセス。

【質疑・意見】 →高校再編推進室回答

- ・校地拡幅の場所を決めた際、信号機設置の可能性が高いということも含め北側に決めた。ハードルが高い事は理解しているが、生徒の安全確保という理由からも校地拡幅を行ってきた。現状の説明だとスムーズな車の動線や生徒の安全な登校ルート確保ができないので、地域の総意として要望できるよう尽力していきたい。

- ・信号機の設置や車の動線について、利便性だけでなく、安全性を県としてどう考えているか。
→利便性だけでなく、安全性も当然重要であると考えており、両方の観点から進めていく。
- ・現状として信号機設置は難しいということだが、県教育委員会として今後の方針はあるのか。
→今日は現状を報告させていただいた。信号機設置については厳しい条件だから諦めたということではなく、どう取り組んでいくかを前向きに考えていきたい。
- ・信号機設置が大変難しいということは理解しているが、未来の子供たちの安全性を確保することはとても大事。ぜひ県としても生徒の安全を確保できる方向で動いてもらい、私たちもその思いに応えられるよう活動していきたい。

(2) 施設整備基本計画策定に向けた配置計画案について

配置計画案について、設計チームから説明。

工期スケジュールについて高校再編推進室から説明。

- ・校地拡張にともないゆとりある校舎配置となったこと、学校機能の中核である管理部門をフェーズ1の建設部分に配置したことから、フェーズ1の整備面積がこれまで示してきたものより、大幅に増加することから、フェーズ1の工期期間が予定より長くなり、令和11年度開校時にフェーズ1の建設部分が完成していないことが予想される。
- ・埋蔵文化財包蔵地調査について佐久市に確認したところ、「現在の野沢北高校の特別教室棟、音楽室棟、音楽室棟南側駐輪場、部室棟を建設した際、本掘調査ですでに遺跡が発見されている。新しく校舎建設を予定している場所からも遺跡がでる可能性は高い。」とのこと。
- ・工期スケジュールに関わる状況が生じた際には、その都度、懇話会にて報告し、情報共有して進める。

【質疑・意見】 →高校再編推進室回答 ⇒設計チーム回答

- ・普通教室の数がクラス数と同じくらいだが、余裕教室はあるか。
→新校は、8学級想定であり、HR教室は各学年8室の計24室を計画しており、HR教室は足りている。また、余裕教室も準備している。加えて可動間仕切りなどにより室のサイズを変えることができる室・転用可能室が各所に計画されており、特定利用のみでなく状況に応じ他の用途でも利用できる室計画をしている。
- ・ロッカーラウンジについて、生徒の居場所になる工夫もされていてよいが、ロッカーとラウンジは分けた方がよいと感じた。
- ・徐々に校舎などの具体案が出てきて、楽しみだと思えるようになってきた。
- ・ゴミステーションはどこになるか。
⇒現在、細かな屋外の室（ゴミステーション、倉庫等）の配置は検討中である。
- ・模型や設計図を見て、ワクワクしている。トイレが少ない事や先生がどこにいるかわからないという現在の野沢北高校で不便に感じていることが全て解決されており、とても嬉しい。班室についても生徒の提案を取り入れてくれ、本当にありがたいと思った。

その他

【次回】第26回懇話会

日程：令和7年5月1日（木） 午後6時から

会場：長野県佐久合同庁舎講堂

佐久新校（仮称）再編実施基本計画

1 再編統合対象校

野沢北高等学校、野沢南高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和 11 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和 11 年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

野沢北高等学校

「新校で構想する学び」の実現を第一に考え、敷地（校地）の広さと周辺の道路環境を考慮し、野沢北高校を新校の校地校舎として活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 学際領域に関する学科 8 学級程度

定時制課程 普通科 1 学級

※学科の名称は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

設置学科については、高等学校における「普通教育を主とする学科」の弾力化（高等学校設置基準及び高等学校学習指導要領の一部改正）により設置可能となった「新たな普通科」の 1 つである、学際領域に関する学科[※]を設置し、新たな学びに対応した単位制を導入する。

佐久地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には 8 学級程度が想定される。

東信地域全体の配置状況を考慮し、定時制課程を設置する。

注) 現代的な諸課題のうち、SDGs の実現や Society5.0 の到来に伴う諸課題に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科。(学際＝研究などが異なる分野にまたがって関わること)

5 学びのイメージ

別紙のとおり

地域と大学、研究機関等と協働した探究を核とし、「夢のある未来社会を地域と共創する知の探究校」を構想する。

6 施設整備

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に要する期間 6 年程度を想定

夢のある未来社会を地域と共創する「知」の探究校

目指す学校像

- 高い志の進路を実現し、地域・日本・世界に貢献する人を育む
- 新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を育む
- 他者との協働により、多様な価値観を共有し、豊かな人間性を育む

学際領域に関する学科

確かな学力と教養を獲得する単位制

- 文理融合のリベラルアーツ的な学び
- 探究を核としたダイナミックな学び
- 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目や多彩な校外学習等により探究の基礎・基本を習得

2～3年次：単位制の自由度を最大限活用して「自らの学びをデザイン」

理数科学選択群



人文科学選択群

- ◇ 選択群を中心に、個々の興味関心により主体的に科目選択
- ◇ 学校内外の自主的・創造的な活動による単位取得
海外留学、資格取得、大学の講義を受講、地元企業との共同研究 など
- ◇ 多様な地域資源を活用したグローバルな探究活動
- ◇ 生徒の活動に伴走するアカデミックサポーター（OB・OG）との連携
- ☆ 医学部・デジタル系の大学や海外の大学への進学など、生徒が希望する多様な進路実現を目指す



佐久エリア共学共創コンソーシアム
多様な人々と協働し、地域の未来社会を共創するコミュニティ



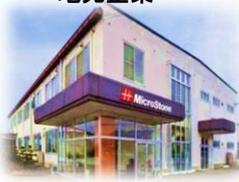
大学



医療機関



地元企業



自治体



研究機関



◆定時制課程 普通科（単位制）：3年間での卒業や全日制の授業を履修可能とする新システム◆

北側岩村田方面から

東側中込方面から



ホテルルートイン
佐久南インター

そば処 浅間

佐久合同庁舎
佐久地域振興局

ゲオ佐久店

(株)星野組

駿素(株)
営業所

西友佐久野沢店

セブンイレブン
佐久野沢北店

ラーメンいかりや

びんころ地蔵

auショップ 佐久野沢

佐久市立野沢中
野沢

南側臼田方面からのアクセス



三塚入口信号機付近

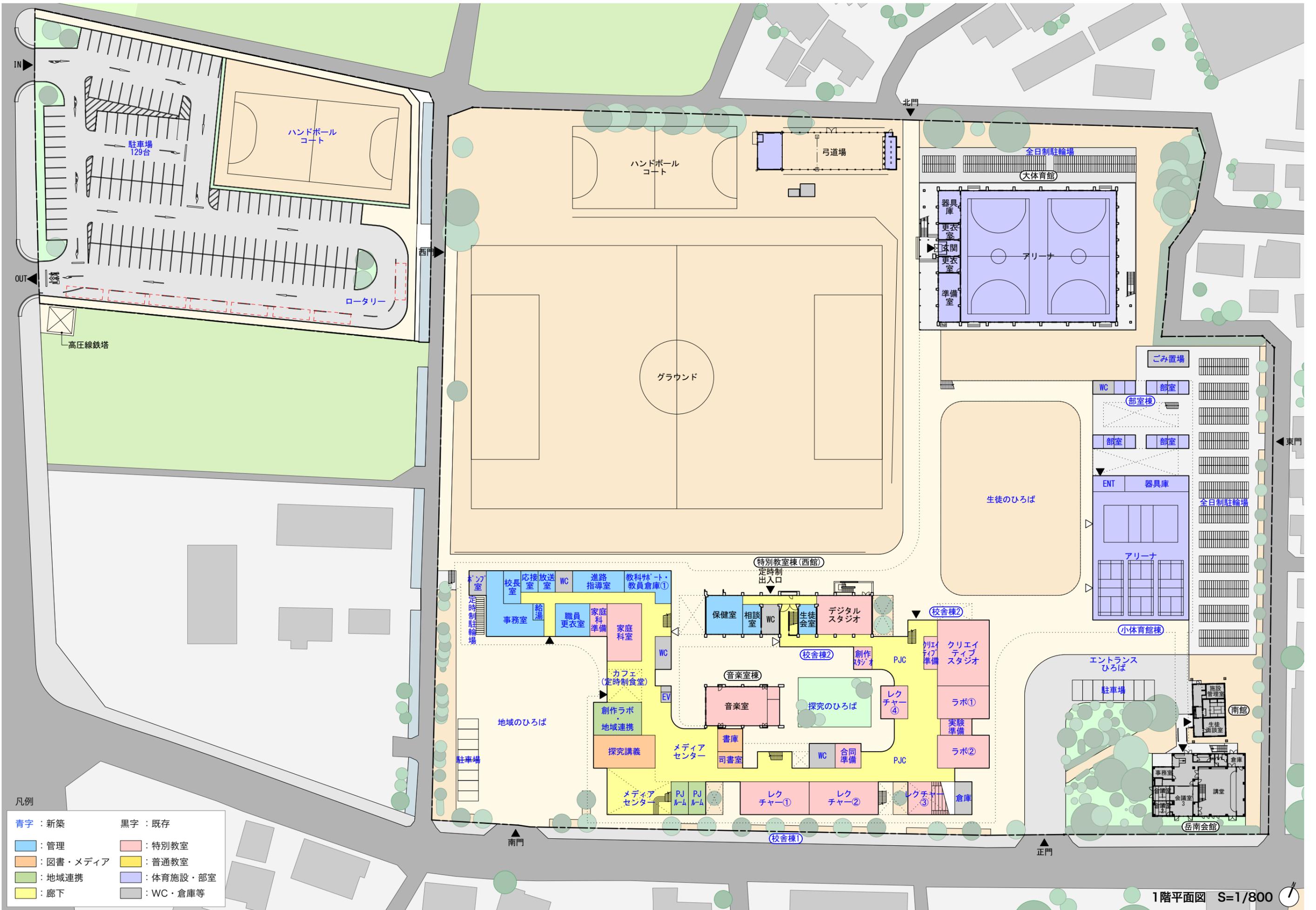


佐久新校 開校までのスケジュール（令和7年4月現在）

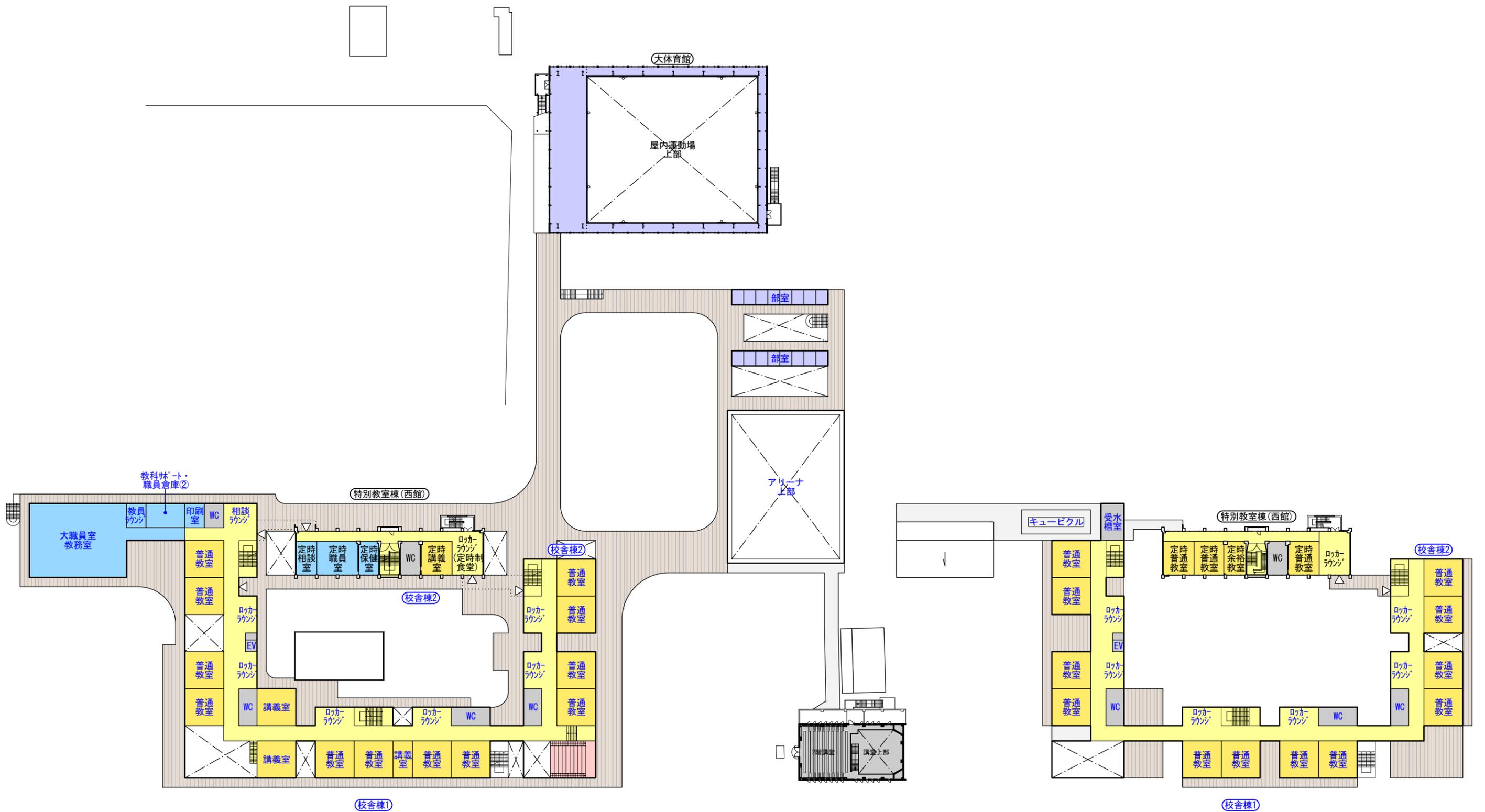
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
県議会						●校名の正式決定		
教育委員会			●設置学科変更を承認	●校名の決定		●募集学級数の決定		
施設整備事業			●基本計画策定	●基本設計策定	●実施設計策定			
懇話会			校名募集要項	校名募集・選考・決定		校歌・校章の提示		
			学びに関する意見交換	教育課程案の提示				
			各ワーキンググループ（WG）の進捗状況報告と意見交換					
ワーキンググループ（WG）	校名		校名募集要項策定	校名募集	校名選考 一次選考・二次選考 校名案決定			
	校歌・校章				校章制作期間 6～12カ月	決定		
					校歌作曲期間 6～12カ月	決定		
	教育課程		設置学科・ 学びのイメージ検討	教育課程の検討（WG） ・単位制 ・2学期制 or 3学期制 ・日課の検討（週32時間など） ・探究学習への取り組み ・必履修科目（単位数の検討と決定） ・学校が定める必履修科目（科目、単位数の検討と決定） ・選択科目（科目、単位数の検討と決定）など		教育課程の決定		
	総務		検討事項 [教務関係] ・在校生の学習保証 ・入学者選抜への対応 ・内規の整理 ・校則の整理 ・校務分掌の整理 ・大規模行事の検討 ・ICT関係(C4th含む) (各WG) [生徒会関係] ・制服・ジャージの検討 ・クラブ活動（クラブの整理と活動場所の確保） ・生徒会組織の検討 ・生徒会会則の整理 ・生徒会会計の整理 [PTA関係] ・PTA組織の検討 ・PTA会計の整理					
		[引越し関係] ・備品等の要否確認 ・引越しの予算確保とシミュレーション →引越し関係は前年						
広報		学校説明会の実施			HP等での発信	地域説明会の実施	ステークホルダーへの広報	
		小中学校への広報活動			中学生への広報強化			

新
校
開
校

※新校同窓会については、両校同窓会で検討



- 凡例
- | | |
|-------------|-------------|
| 青字 : 新築 | 黒字 : 既存 |
| ■ : 管理 | ■ : 特別教室 |
| ■ : 図書・メディア | ■ : 普通教室 |
| ■ : 地域連携 | ■ : 体育施設・部室 |
| ■ : 廊下 | ■ : WC・倉庫等 |



凡例

青字	: 新築	黒字	: 既存
■	: 管理	■	: 特別教室
■	: 図書・メディア	■	: 普通教室
■	: 地域連携	■	: 体育施設・部室
■	: 廊下	■	: WC・倉庫等

2階平面図 S=1/800

3階平面図 S=1/800